



よりよき学校づくりのために

生徒指導部主任 狩野 政幸



令和も2年目を迎えた今年、私たちの誰もが想像をできない状態での新しい年度のスタートとなりました。このコロナ禍は現在も進行形であり、ヨーロッパでは第2波とも言われる状態で1日の感染者数が1万人単位で増加している状況です。長崎明誠高校では落ち着いた日常を取り戻した感がありますが、いつまた春先のような状態にならないとは限りません。新しい生活様式に従って感染防止に努め、地域に信頼される学校であることを目指し、学校生活を送ってほしいと思っています。

日々の清掃活動も懸命に行われ、学校がきれいになったとも感じています。これからのこれらの取り組みを続け、校内外でのマナーアップとともに、生徒一人一人が長崎明誠高生として恥ずかしくない行動がとれるよう、声をかけていきたいと思っています。

長崎明誠高校の生徒指導部の努力目標として以下の5つをあげました。

1. 校内外の生活におけるマナーの向上 車内でのマナー・マスクの着用・交通マナー)
2. 学校・学習環境の美化に努める 教室・ロッカールの整備・ロッカーの施錠)
3. 全員清掃を徹底、飲料のボトルをきちんと専用のゴミ箱に捨てる
4. 高校生らしい爽やかな制服の着こなしに努める
5. 明るく爽やかなあいさつ運動を推進する

昨年に続き、令和になって自然災害が全国各地で起こっています。今年も7月6日(月)に大雨が降り、昨年に続き、災害の危機にさらされました。翌日は休校となり、結果、この週は7日(火)、10日(金)と2日間も臨時休校になるほどでした。特別警報は解除され大事には至りませんが、地震、台風を含めこのような自然災害は、いつどこでも起こりうることであり、非常事態に備える危機感を持ち、生活を送るよう心がけてほしいと思います。また不審者情報も度々、学校に入っています。日没も早くなくなり、事件・事故に巻き込まれやすいこの時期以下のこと十分に注意をして行動してください。

帰宅時は

1. 1人で帰らない
2. 明るい場所を歩く
3. 人通りが多い場所を通る
4. 時々後を振り返る等、自己防衛を図る
5. 何かあった場合、すぐに警察に通報する (その場で110番)

学校見学会

10月10日(土)、本校の学校見学会を開催し、多くの中学生と保護者の方が参加してくれました。当日は「郷土芸能」受講者の和太鼓演奏に始まり、入試の説明や在校生による学校生活のプレゼンテーションを行いました。中学生の皆さん、ぜひ長崎明誠高校で「一緒に夢を実現させましょう！」



PTA除草作業

10月26日(日)、PTA有志による校内除草作業を行いました。秋晴れの中、PTAの方々が草刈り機や鎌を使い見違えるように校内がきれいになりました。参加されたPTAの皆様ありがとうございました。



11月の行事予定

- 1日(日) 進研模試(3年) 進研実力(2年)
- 2日(月) 開校記念日 公務員模試(2年)
- 8日(日) 全商珠算電卓実務検定
- 9日(月) 考查時間割発表
- 12日(木) 人権同和教育
- 13日(金) 県総文祭総合開会式 PTA 役員会
- 16日(月) 講座内考査(~20日)
- 19日(木) 鶴南特支時津分校との交流会
- 20日(金) 課題研究学年発表会(3年)
- 21日(土) 危険物取扱者試験
- 22日(日) 全商ビジネス文書実務検定
- 24日(火) 第3回考査(~27日)
- 28日(土) 河合塾センタープレ(3年~29日)
- 30日(月) 県育英会奨学金返還説明会(3年)

芸術鑑賞会

10月14日（水）、芸術鑑賞会を行いました。本校では3年に1度実施しており、今年度は劇団自由人会による演劇『夢をかなえるゾウ』青春ロボット編を鑑賞しました。内容は、『バストセラー 夢をかなえるゾウ』を原作にしたもので、将来への不安を抱えた高校生と関西弁の神様・ガネーシヤの物語です。生徒たちは間近で観るプロの演技に引き込まれ、楽しみながら多くのことを学んだようです。また、体育館に作られた2階建ての動くセットや本格的な音響にも驚きました。



生徒の感想より

○本気で夢を叶えるために、自分の夢について真正面から向き合い、考えることで、夢を実現する第一歩になると思いました。誰かのために何かをしたい、そう思ったことが夢だ」という言葉が印象に残りました。
（3年女子）

○自分も逃げてばかりで自己中心的な考えをしてしまうことが多くある。しかしそれでは周りに迷惑をかけていることがわかった。他人からの意見も取り入れ、自分だけ満足できればいいのではなく、周りと一緒に楽しくできたらいいと思った。物事は視点を変えることで全く別の意見が出たりすることを知ったので、一人で悩まず、他人からの意見も大切にしたと思った。
（2年男子）

○自分をあきらめずに挑戦を続けることが何か得るものがあるのだと学びました。これから先、辛いことや苦しいこと、上手いかないけないことがたくさん出てくると思うけど、挑戦し続けて後悔のない高校生活を送っていききたいです。
（1年女子）

メッセージ

「感謝を忘れない」
「運がいいと言つ」
「絶対に自分を諦めない」



人生の達人セミナー

10月22日（木）、人生の達人セミナーがあり、プロデュースセンタ―長崎代表の川田金太郎氏から「伝えるということ」という題で講演をいただきました。歌手でもいらっしゃる川田氏の経験談とそこから生まれた歌を、生徒たちはそれぞれ自分自身を振り返りながら聴きました。ありがとうございます」と「ごめんなさい」をきちんと伝えることが大切だと教えられました。また、川田氏は本校の校歌を作っていたいだいたさだまさし氏を師匠と仰いでいらつしやう、さだ氏から長崎明誠の生徒へ「君たちは何にでも挑戦できる」というメッセージを伝えていただきました。

生徒の感想より

○親とけんかした時、決まっていた言葉は口にした事がある。自分は直接面と向かって「ありがとう」と伝えることが少し恥ずかしく、あまり伝えたいことがない。でも今日の講演を聞いて、直接伝えることの大切さと、その一言に思いを込めることの大切さを学びました。
（2年女子）

○人に物事を伝えるとき、考えずに言葉を発してしまいがちになってしまうことがある。そんな時こそ相手の言葉の裏にある意味をしっかりと考えることが大事だと思った。
（1年男子）

○どんなに辛い事があっても目の前にチャレンジできる事があれば、失敗しても何度でもチャレンジする。この先どんなに辛い事や悲しい事があっても、諦めずに頑張ろうと思えました。そして、どんな時でも応援してくれる家族やいつも周りの気持ちを持ち、ありがとうとごめんなさいを素直に伝える大人になりたいです。
（3年女子）

「夢を叶えるためには
決める、始める、続ける」



キャンパス企業見学

10月21日（水）、1年生がキャンパス企業見学に行きました。本校のキャリア教育の二環で、今年度は長崎外国語大学、長崎総合科学大学、長崎ウレシヤン大学、長崎女子短期大学、長崎高等技術専門学校、長崎県立農業大学校、長崎医療技術専門学校、長崎県美容専門学校、いさはやコンピュータカレッジ、協和機電、ゆめタウン夢彩都、ガーデンテラス長崎ホテル、新長崎製作所、有田工業の9校5社から関心のある2箇所をそれぞれ訪問しました。生徒たちは、上級学校や企業の方から直接話を伺い施設を見学することで、進路選択の視野を広げることができました。



長崎県立農業大学校での様子